

業種	建設業
活用分野	VDSL工場の計画・報告・管理
テクノロジー	スマートフォン テレマティクスクラウド

訪問計画と作業報告を位置情報連携クラウドで

インターネットの利用を開始する際に必要となる回線工事。関電工はこうした棟内VDSL工事をはじめ数多くの電気設備工事を手がけている。

VDSL工事では、新規申込者のデータをもとに訪問ルートを考えてアポイントをとっていき、訪問ルートをもさらに効率化したいと考えていた。また、工事管理シ

テムへの作業報告登録では担当者からの報告の一部に自動化されていない部分もあり、聞き取り作業が発生していた。

新システムの構築にあたり関電工が採用したのは伊藤忠テクノソリューションズのクラウドサービス「MAMS」。テレマティクスプラットフォームの上に計画機能と業務可視化機能の両方を併せ持つことが選択

の決め手だったという。「MAMS」はAndroid端末でも利用可能であったため、スマートフォンにて運用を開始。車両からのデータは取得できないものの業務指示や報告業務が簡素化されるなどのメリットがあった。

システム導入後は、自動ルート計算機能により、訪問ルートを最適化することができた。また、作業開始・終了の報告は、作業エリアに入った時間・出た時間で自動的に処理されるので、作業後、個々の作業員への聞き取りが不要になった。

また、現場でスマートフォンから撮影した写真と位置情報が紐づいて、地図上に表示できるようになり、写真の管理が簡素化できたという。業績向上率16%、経費削減率20.4%など顕著な効果が生まれた。

図 「MAMS」を活用したシステムの流れ

